

2025 年度春季入学弘前大学大学院人文社会科学研究科

入学試験問題

試験科目名 文化財科学

解答にあたっての注意事項

- 1 試験開始の合図があるまでこの問題冊子を開いてはいけない。
- 2 専門科目の問題は論述である。
- 3 専門科目（論述）は 9 時 30 分から 11 時 30 分までである。
- 4 専門科目（論述）は問題 I（100 点）と問題 II（100 点）である。両問題とも解答すること。

問題 I

- (1) 縄文時代の藍胎漆器の製作技術を明らかにするための分析方法を 3 つ挙げなさい。
- (2) (1)で挙げた分析方法について、それぞれが藍胎漆器の何を明らかにするものであるかを説明しなさい。分析の目的および方法の詳細を記述し、各方法のメリットとデメリットを交えて論じなさい。

配点

(1)が 50 点

(2)が 50 点

問題 II

(1) 低湿地遺跡は、地下水が多く、酸素が少ない嫌氣的な土壤環境である。このような環境では、有機物である木製品（水浸出土木材）などが水に浸かった状態でしばしば発見される。水浸出土木材は、一見すると良好な形状を保っているように見えるが、実際には強度が著しく低下しており、一度乾燥すると不可逆的な変形や収縮を引き起こす。水浸出土木材の劣化程度を評価する方法について、以下のキーワードをすべて使用して説明しなさい。

キーワード：細胞壁、含水率

(2) (1)のような水浸出土木材を博物館において展示するための保存処理方法を 2 つ挙げなさい。また、それぞれの保存処理方法の説明をしなさい。

配点

(1)が 50 点

(2)が 50 点